

メカトロニクスパーツ市場を調査

新型コロナウイルス感染症の影響により世界の工場稼働率は低下。2020年の市場は厳しい状況

—2020年市場見込（2019年比）—

<調査結果の概要>

■メカトロニクスパーツ 1兆5,972億円（6.7%減）

～ 半導体関連の需要は回復に向かっているものの、

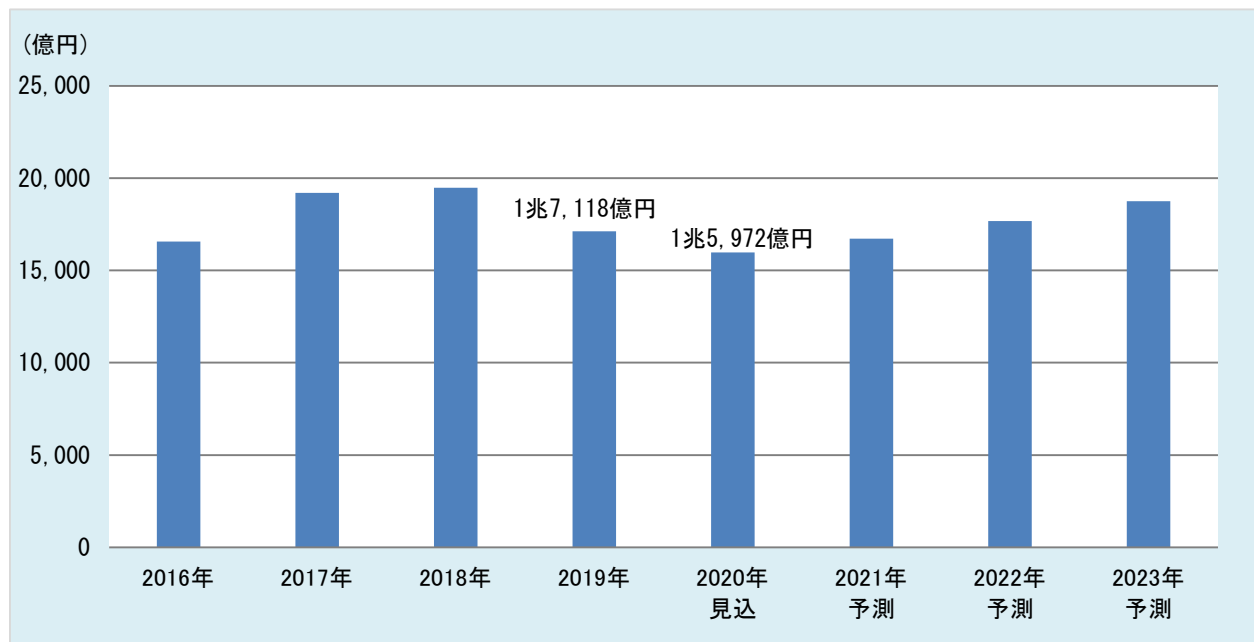
自動車をはじめ製造業全体の需要が減少しており、市場は縮小 ～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による環境の変化に伴い、参入メーカーが戦略の変革を進めているFA機器の構成部品（メカトロニクスパーツ）の市場を調査した。その結果を「[2020年注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査](#)」にまとめた。

この調査では、コントローラ領域5品目、ドライブ領域8品目、メカニカル領域4品目、センサー領域9品目、受配電機器領域5品目、ネットワーク機器領域5品目の市場を調査・分析し、将来を予想した。なお、市場は国内市場+日系メーカー海外実績とした。

<調査結果の概要>

■メカトロニクスパーツ市場（国内市場+日系メーカー海外実績）



2019年の市場は、1兆7,118億円（2018年比12.1%減）となった。半導体・液晶製造装置などのエレクトロニクス業界や、自動車業界の設備投資が低調だったこと、米中貿易摩擦の影響により食品・包装機械や一般産業機械などの設備投資が抑制されたことからメカトロニクスパーツの需要も減少し、市場は縮小した。

2020年の市場は、1兆5,972億円（2019年比6.7%減）が見込まれる。新型コロナウイルス感染症の影響により、世界の工場稼働率は低下しており、厳しい市場環境となっている。テレワークの増加によるサーバーへの投資拡大、5G関連の投資拡大などにより、半導体関連の需要は回復に向かっているが、自動車業界をはじめ、製造業全体の需要は引き続き減少しており、市場の縮小が予想される。

<注目市場>

●プログラマブルコントローラー

	2019年	2020年見込	2019年比
国内市場	1,052億円	950億円	90.3%
日系メーカー海外実績	899億円	870億円	96.8%
合計	1,951億円	1,820億円	93.3%

プログラマブルコントローラーは、リレー回路の代替装置として開発された制御装置であり、主に工場などの自動機械の制御に使われている。

2019年は、半導体・液晶製造装置や自動車製造関連装置の設備投資が抑制されたことから市場は縮小した。2020年の市場は、1,820億円（2019年比6.7%減）が見込まれる。中国を中心に半導体製造装置向けは堅調であるが、新型コロナウイルス感染症の影響から全般的に設備投資が抑えられているため、市場は縮小するとみられる。

●A Cサーボモーター

	2019年	2020年見込	2019年比
国内市場	1,035億円	881億円	85.1%
日系メーカー海外実績	847億円	849億円	100.2%
合計	1,882億円	1,730億円	91.9%

サーボモーターとは、サーボ機構において位置や速度などを制御する用途に使用するモーターであり、大きくA CタイプとD Cタイプに区分され、ここではA Cタイプを対象とする。

2019年は、米中貿易摩擦の激化によりロボット／実装・組立機械や工作機械、半導体・液晶製造装置の需要は減少し、後半に中国を中心に半導体の需要が回復したものの市場は縮小した。2020年の市場は、1,730億円（2019年比8.1%減）が見込まれる。中国での半導体の需要は5 G関連の投資拡大やスマートフォン市場の回復から好調であるが、自動車製造向けの工作機械は大幅に需要が減少するとみられる。また、当面は新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから、市場は縮小するとみられる。

●産業用スイッチングハブ

	2019年	2020年見込	2019年比
国内市場	30億円	27億円	90.0%
日系メーカー海外実績	2億円	1億円	50.0%
合計	32億円	29億円	90.6%

※市場データは四捨五入している

産業用スイッチングハブは、ネットワークにおいて中継を行うハブであり、製造現場向けに堅牢性、信頼性、耐環境性を高めた産業用の製品を対象とする。

これまで欧米を中心に市場は形成されてきた。近年、I T（情報技術）とO T（運用技術）の連携やI o T化の動きが活発化していることで、市場は拡大している。2020年の市場は、29億円（2019年比9.4%減）が見込まれる。自動車業界を中心に製造業全体の設備投資が抑制されていることから、市場は縮小するとみられる。2021年以降は、食品製造や化学プラントといったディスクリート（組立加工）型製造業への普及が進むことやI T投資の活発化により、再び市場は拡大していくとみられる。

●リニアサーボモーター

	2019年	2020年見込	2019年比
国内市場	86億円	96億円	111.6%
日系メーカー海外実績	40億円	42億円	105.0%
合計	126億円	138億円	109.5%

リニアサーボモーターとは、稼働対象に直接、直線的な運動を与える駆動装置であり、ハイエンドの半導体・液晶製造装置や工作機械などで採用される。

2019年は、米中貿易摩擦の影響により主力用途である半導体・液晶製造装置の需要が減少し、市場は縮小した。2020年の市場は、138億円（2019年比9.5%増）が見込まれる。新型コロナウイルス感染症の影響により、工作機械などでは需要が減少しているが、5 G関連の投資拡大やスマートフォン市場の回復などにより

半導体・液晶製造装置での需要が回復していることから市場は拡大が予想される。

<調査対象>

コントローラ領域	・プログラマブルコントローラ ・プログラマブル表示器	・産業用コンピューター ・モーションコントローラ	・温度調節計
ドライブ領域	・ACサーボモーター ／ドライバー ・リニアサーボモーター	・ダイレクトドライブモーター ・産業用ステッピングモーター ・汎用インバーター	・三相インダクションモーター ・産業用ギアードモーター ・産業用PMモーター
メカニカル領域	・単軸アクチュエーター ・ボールねじ	・リニアガイド	・カップリング
センサー領域	・固定式コードリーダー ・光電センサー ・ファイバーセンサー	・レーザー変位センサー ・近接センサー ・リニアエンコーダー	・ロータリーエンコーダー ・産業用振動センサー ・産業用温度センサー
受配電機器領域	・産業用配線用遮断器 ・産業用気中遮断機	・コンタクタ ・電力調整器	・スイッチング電源
ネットワーク機器領域	・産業用I/Oルーター ／ゲートウェイ	・産業用スイッチングハブ ・FA用無線LANシステム	・産業用ネットワークケーブル ・端子台

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2020年6月～9月

以上

資料タイトル	「 2020年 注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査 」		
体裁	A4判 300頁		
価格	書籍版	150,000円+税	
	PDF版	150,000円+税	
	書籍/PDF版セット	170,000円+税	
	ネットワークパッケージ版	300,000円+税	
発行所	株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通 TEL:03-3664-5811(代) FAX:03-3661-0165 URL: https://www.fuji-keizai.co.jp/ e-mail:info@fuji-keizai.co.jp		
調査・編集	インダストリアルソリューション事業部		
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: https://www.fuji-keizai.co.jp/press/			